

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-078  
補助事業名 平成26年度 難病に関する研究機器（医療機器）の整備 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

心筋症などの難病循環器疾患や冠動脈疾患の診断において、心臓CT検査は極めて有用な情報を提供してくれますが、より詳細に情報を得ようとすればするほど、放射線量が増加します。とくに小児（新生児・乳幼児を含む）など、より放射線による影響が懸念されるものほど、CT検査が有用となってきています。

医療被曝の増加が社会問題となりつつある中で、検査による放射線量の減量は急務であります。より少ない放射線量を用いて高精度の心臓CT検査を行い、医療被曝を心配することなく、安全性が確保された検査を普及させることを通じて、より社会貢献することを目指しています。

#### (2) 実施内容

物品名：心筋症における左室形態・心臓性状評価システム

数量：一式

金額：28,350,000円

(URL)：<http://www.sakakibara-heart.com/jigyoku/kifu-hojyo.html>

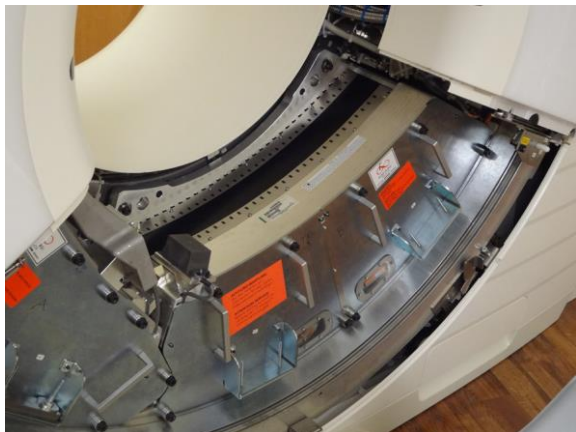
本システムは、CTの性能の主要部分である検出器と言われるもので、最先端の技術を用いた極めて高い感度と分解能をもったものです。

感度が高いために、これまでよりも低い放射線量での撮影が可能となり、画質を落とすことなく被ばく線量を少なくすることが可能となります。このため、放射線被ばくの影響をとくに受けやすい小児の患者さんが、安心して必要な検査を受けることが可能になりました。

また分解能は、どれだけ小さなものまで見ることができるかという目安になりますが、これが高いことにより心臓の中の構造や血管に植え込まれたステントという小さな医療機器も撮影して評価することが可能となりました。

こうして得られた知見をまとめて国の内外に発信し、今後も医療の質の向上に貢献できるものと考えています。

(別紙5)



(部分)



(全体)



榊原記念病院の玄関 (東京都府中市朝日町3-16-1)

(別紙5)

## 2 予想される事業実施効果

肥大型心筋症のなかでも、とくに閉塞性肥大型心筋症は自覚症状も強く、予後も不良な難病です。これに対する治療法として経カテーテル的心室中隔焼灼術がありますが、手術前に治療する部位を決めることや手術の後の確認にCT検査が有用と考えられましたが、動画を作るための撮影枚数が多くなるため、被ばくが問題となっていました。

今回導入したStellar Detector を用いることにより、これまでよりも低線量での撮影が可能となり、今後、術前プランニングにおいて標準的な検査となることが期待されます。さらにどのように閉塞するのかを調べることが可能となり、経カテーテル的心室中隔焼灼術だけでは効果が期待できないような症例をあらかじめ予測することができます。これにより外科手術も視野にいた総合的な治療計画が可能となるため、患者様にこれまでにない恩恵をもたらすことが期待されます。

また、被ばく量の低減が必須と考えられる小児を対象とした検査においても、高画質を担保しながら、これまで以上に放射線量を減らして行うことができるため、より利用機会が多くなることが予想されます。

## 3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

ポスター（院内掲示）

ホームページ (<http://www.sakakibara-heart.com/jigyuu/kifu-hojyo.html>)

平成26年度事業報告書（8月頃完成予定）

院内ホームページ

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会（コウエキザイダンホウジンニホンシンゾウケツアツケンキュウシンコウカイ）

住 所： 〒162-0054 東京都新宿区河田町8-1

代 表 者： 理事長 細田瑛一（ホソダサイチ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 課長補佐 数見由紀（カチヨウホサ カズミュキ）

電 話 番 号： 03-3357-7643

F A X： 03-3353-8090

E - m a i l： [kazumi@hq.heart.or.jp](mailto:kazumi@hq.heart.or.jp)

U R L： <http://www.sakakibara-heart.com/index.html>